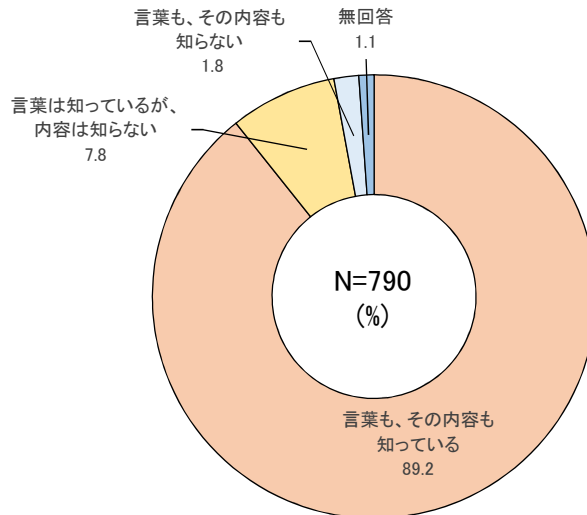


## 4 配偶者や交際相手からの暴力について

問1 あなたは、次のAとBの言葉について知っていますか。あてはまる番号に○をつけてください。  
(○はそれぞれ1つ)

A DV (ドメスティック・バイオレンス)



### 【全体】

「言葉も、その内容も知っている」(89.2%)の割合が約9割となっている。これに「言葉は知っているが、内容は知らない」(7.8%)、「言葉も、その内容も知らない」(1.8%)が続く。

### 【圏域別】

圏域による大きな差異は見られない。

### 【人口規模別】

人口規模による大きな差異は見られない。

### 【性別】

性別による大きな差異は見られない。

### 【年代別】

「言葉も、その内容も知っている」の割合は、30～39歳(97.1%)が最も高く、70歳以上(71.0%)が最も低い。

### 【職種別】

職種による大きな差異は見られないが、自営業(農林漁業)や自由業では「言葉は知っているが、内容は知らない」の割合が高い。

### 【居住年数別】

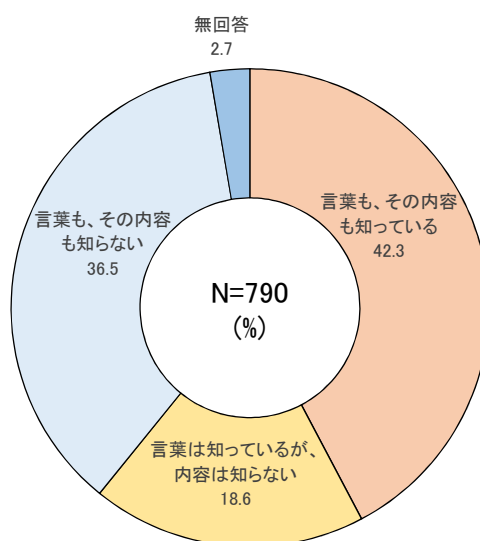
居住年数による大きな差異は見られない。

- ①言葉も、その内容も知っている      ②言葉は知っているが、内容は知らない  
 ③言葉も、その内容も知らない      ④無回答

		0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%	
凡例		①		②			③		④				
全体 (N=790)		89.2										7.8	1.1
圏域	道央	89.3										8.3	1.0
	道南	88.9										9.5	0.6
	道北	89.0										5.5	2.7
	オホーツク	93.3										4.4	2.2
	十勝	88.7										5.7	5.7
	釧路・根室	88.9										8.9	2.2
	無回答	50.0			25.0			25.0					
人口規模	札幌市	89.7										9.0	0.7
	人口10万人以上の市	93.2										5.2	0.5
	人口10万人未満の市	88.4										6.5	3.9
	町村	86.2										9.4	2.9
	無回答	33.3			33.3			33.3					
性別	男性	89.1										8.4	0.6
	女性	89.6										7.3	1.3
	回答しない	88.2										5.9	5.9
	無回答	50.0			50.0								
年代	18～29歳	92.2										4.9	2.9
	30～39歳	97.1										2.2	0.7
	40～49歳	94.8										3.9	1.3
	50～59歳	88.4										10.0	0.6
	60～69歳	83.2										11.2	2.8
	70歳以上	71.0										19.4	4.8
	無回答	50.0			50.0								
職種	自営業（農林漁業）	86.4										13.6	
	自営業（商工サービス）	96.6										3.4	
	自由業	85.7										14.3	
	事務職系	96.9										2.6	0.4
	労務職系	89.8										8.8	0.7
	主婦・主夫	90.3										6.7	1.5
	学生	95.8										4.2	
	無職	75.8										14.7	6.3
	その他	83.0										11.7	4.3
	無回答	20.0		60.0			20.0						
居住年数	1年未満	88.5										3.8	7.7
	1～5年未満	93.4										4.9	1.6
	5～10年未満	86.9										8.2	3.3
	10～20年未満	93.3										5.8	1.0
	20年以上	88.8										8.4	1.3
	無回答	25.0		50.0			25.0						

問1 あなたは、次のAとBの言葉について知っていますか。あてはまる番号に○をつけてください。  
(○はそれぞれ1つ)

B デートDV



**【全体】**

「言葉も、その内容も知っている」(42.3%)の割合が最も高く、「言葉も、その内容も知らない」(36.5%)、「言葉は知っているが、内容は知らない」(18.6%)が続く。

**【圏域別】**

道北では「言葉も、その内容も知っている」(37.0%)の割合がやや低く、「言葉も、その内容も知らない」(43.8%)がやや高くなっている。

**【人口規模別】**

人口規模が大きい市町村ほど「言葉も、その内容も知っている」の割合が高い。町村では「言葉も、その内容も知らない」(42.8%)が高くなっている。

**【性別】**

「言葉も、その内容も知っている」の割合は、女性(46.7%)が男性(35.2%)を上回る。

**【年代別】**

「言葉も、その内容も知っている」の割合は18~29歳で最も高く、年代が上がるほど認知率が下がる傾向が見られる。70歳以上では、「言葉も、その内容も知っている」の割合は4人に1人に留まる。

**【職種別】**

「言葉も、その内容も知っている」の割合は学生(62.5%)や事務職系(54.1%)で高い。

**【居住年数別】**

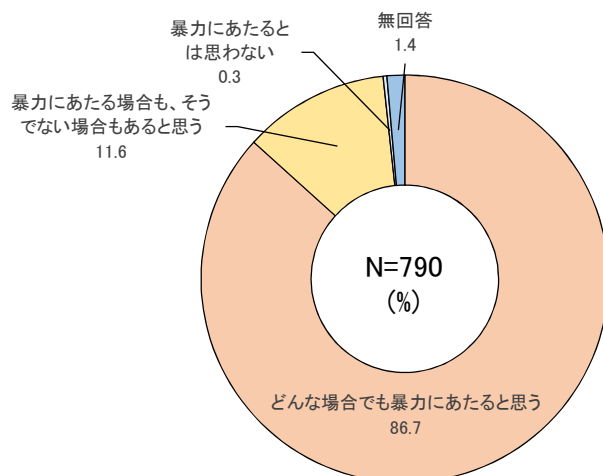
「言葉も、その内容も知っている」の割合は、居住年数1年未満(61.5%)で最も高い。

- ①言葉も、その内容も知っている                      ②言葉は知っているが、内容は知らない  
 ③言葉も、その内容も知らない                      ④無回答

		0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
凡例		①		②			③			④		
全体 (N=790)		42.3		18.6			36.5			2.7		
圏域	道央	43.0		18.3			36.3			2.4		
	道南	42.9		17.5			38.1			1.6		
	道北	37.0		15.1			43.8			4.1		
	オホーツク	40.0		26.7			31.1			2.2		
	十勝	41.5		17.0			39.6			1.9		
	釧路・根室	44.4		22.2			28.9			4.4		
	無回答	50.0		25.0			25.0					
人口規模	札幌市	46.0		15.7			35.3			3.0		
	人口10万人以上の市	42.9		19.4			35.6			2.1		
	人口10万人未満の市	41.9		21.3			34.8			1.9		
	町村	34.8		20.3			42.8			2.2		
	無回答	16.7		33.3			16.7			33.3		
性別	男性	35.2		17.8			44.9			2.2		
	女性	46.7		19.3			31.1			2.9		
	回答しない	58.8		11.8			23.5			5.9		
	無回答	50.0		50.0								
年代	18～29歳	56.3		22.3			20.4			1.0		
	30～39歳	39.4		20.4			40.1					
	40～49歳	46.4		19.6			33.3			0.7		
	50～59歳	37.9		15.3			45.3			1.6		
	60～69歳	43.4		18.9			31.5			6.3		
	70歳以上	25.8		14.5			48.4			11.3		
	無回答	50.0		50.0								
職種	自営業（農林漁業）	31.8		27.3			40.9					
	自営業（商工サービス）	48.3		20.7			31.0					
	自由業	38.1		23.8			38.1					
	事務職系	54.1		14.8			30.1			0.9		
	労務職系	32.1		21.9			43.1			2.9		
	主婦・主夫	41.8		21.6			34.3			2.2		
	学生	62.5		8.3			29.2					
	無職	36.8		11.6			45.3			6.3		
	その他	31.9		24.5			40.4			3.2		
	無回答	20.0		20.0			60.0					
居住年数	1年未満	61.5		15.4			23.1					
	1～5年未満	42.6		23.0			32.8			1.6		
	5～10年未満	39.3		24.6			34.4			1.6		
	10～20年未満	50.0		23.1			26.0			1.0		
	20年以上	40.3		16.7			39.9			3.2		
	無回答	25.0		25.0			25.0			25.0		

問2 あなたは、次のようなことが配偶者等から行われた場合、それを暴力だと思えますか。A～Jのそれぞれについて、「1」～「3」のうち、あなたの考えに近い番号に○をつけてください。（○はそれぞれ1つずつ）

A たたく、なぐる、ける、物を投げつける



**【全体】**

「どんな場合でも暴力にあたると思う」（86.7%）の割合が高く、「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」（11.6%）が続く。

**【圏域別】**

「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は、オホーツク（77.8%）が最も低くなっている。

**【人口規模別】**

人口規模による大きな差異は見られない。

**【性別】**

性別による大きな差異は見られない。

**【年代別】**

いずれの年代でも9割近くが「どんな場合でも暴力にあたると思う」としているが、70歳以上は75.8%と低くなっている。

**【職種別】**

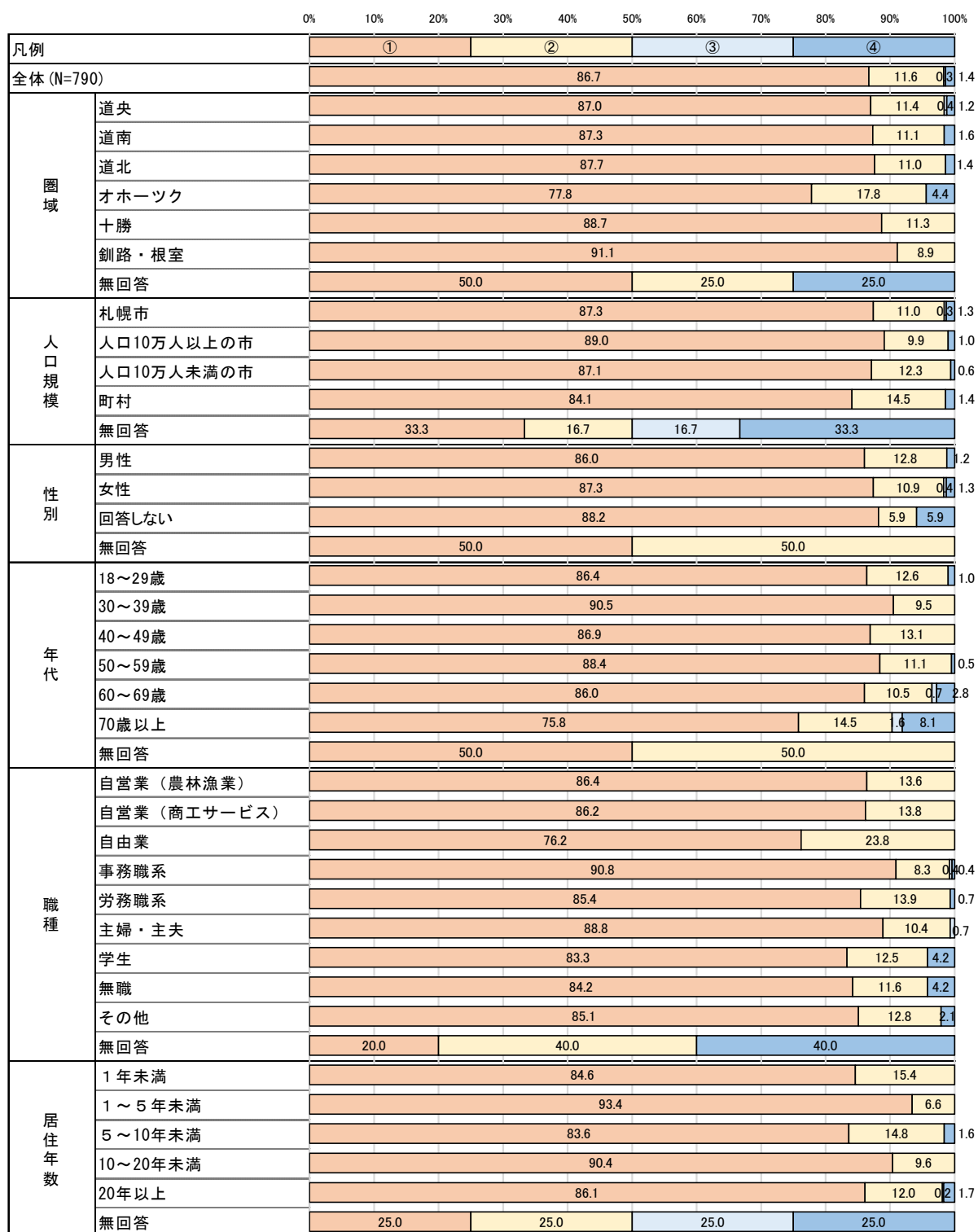
自由業では「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」（23.8%）の割合がやや高い。

**【居住年数別】**

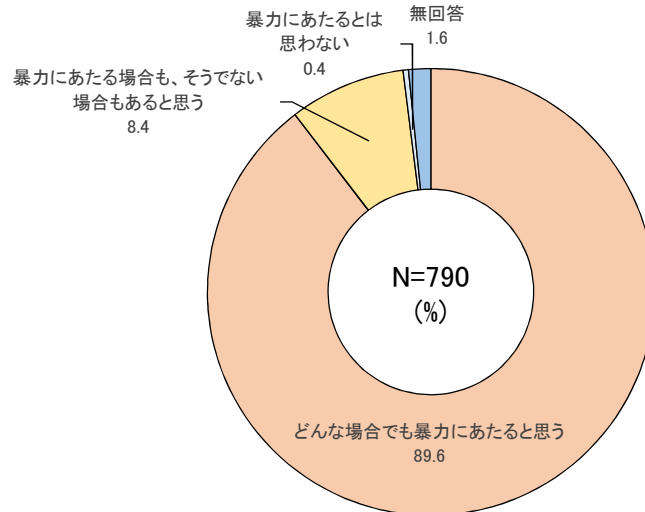
居住年数による大きな差異は見られないが、1年未満（15.4%）や5～10年未満（14.8%）では「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」の割合がやや高い。

- ① どんな場合でも暴力にあたると思う
- ③ 暴力にあたるとは思わない

- ② 暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う
- ④ 無回答



問2 B なぐるふりをしたり、刃物などで脅す



【全体】

「どんな場合でも暴力にあたると思う」（89.6%）の割合が最も高く、「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」（8.4%）が続く。

【圏域別】

圏域による大きな差異は見られない。

【人口規模別】

人口規模による大きな差異は見られない。

【性別】

性別による大きな差異は見られない。

【年代別】

70歳以上では「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合（75.8%）が低くなっている。

【職種別】

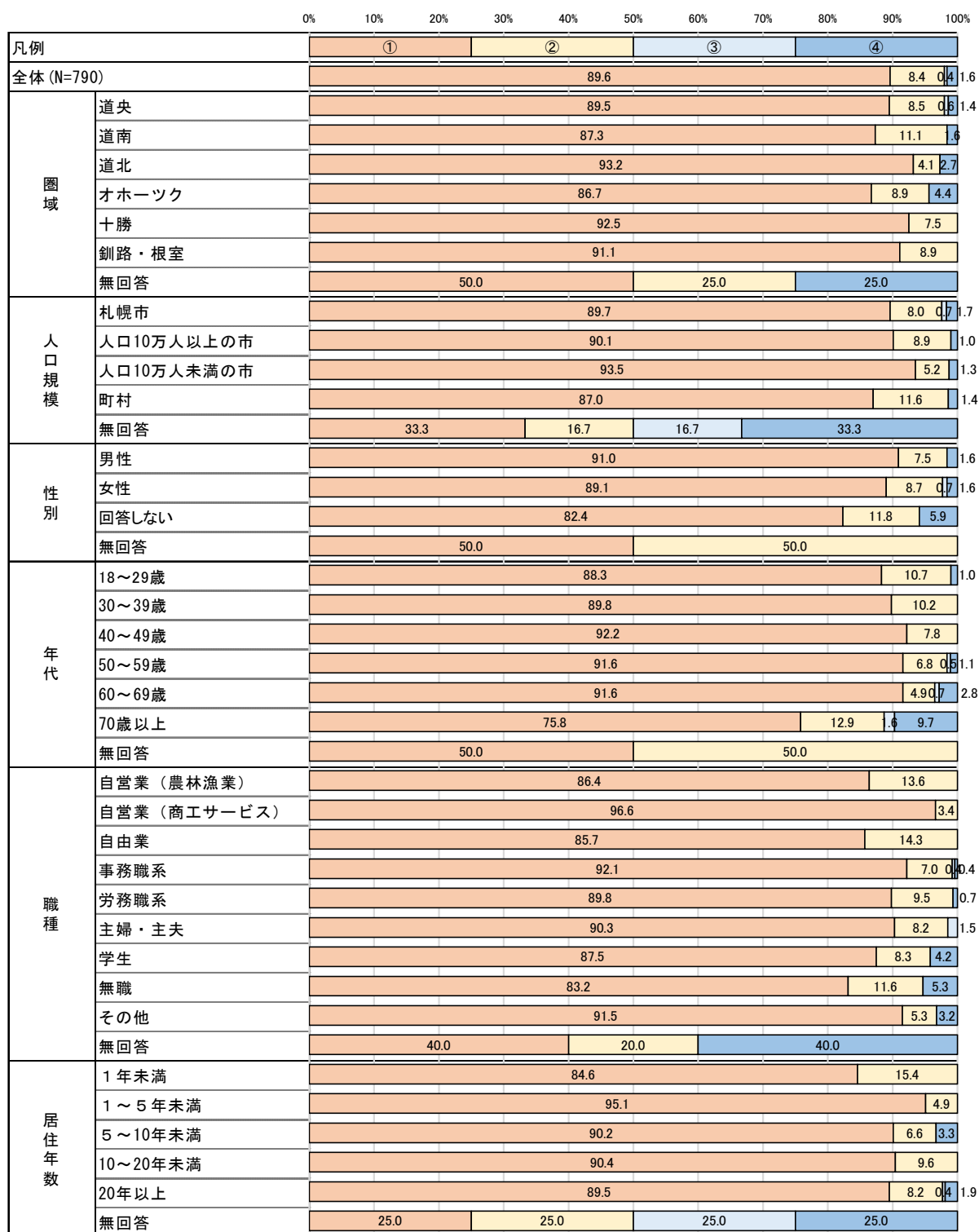
自営業（農林漁業）と自由業では、「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」の割合がやや高くなっている。

【居住年数別】

1年未満（15.4%）では「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」の割合がやや高い。

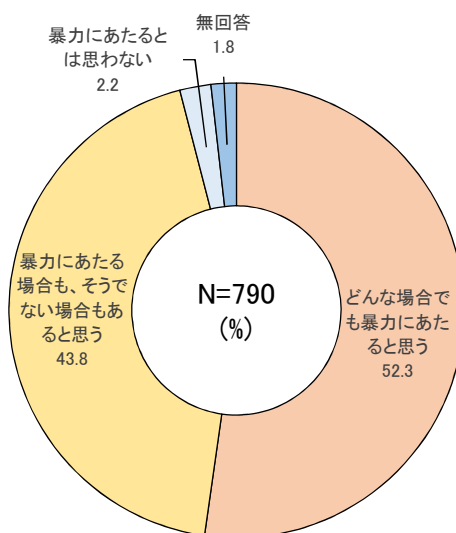
- ① どんな場合でも暴力にあたると思う
- ③ 暴力にあたるとは思わない

- ② 暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う
- ④ 無回答





問2 C 大声でどなる



【全体】

「どんな場合でも暴力にあたると思う」(52.3%)の割合が最も高く、「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」(43.8%)が続く。

【圏域別】

「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は、オホーツク(40.0%)が最も低くなっている。

【人口規模別】

人口規模が大きいほど、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は高くなっている。

【性別】

「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は女性(54.2%)が男性(48.6%)を上回る。

【年代別】

年代による大きな差異は見られない。

【職種別】

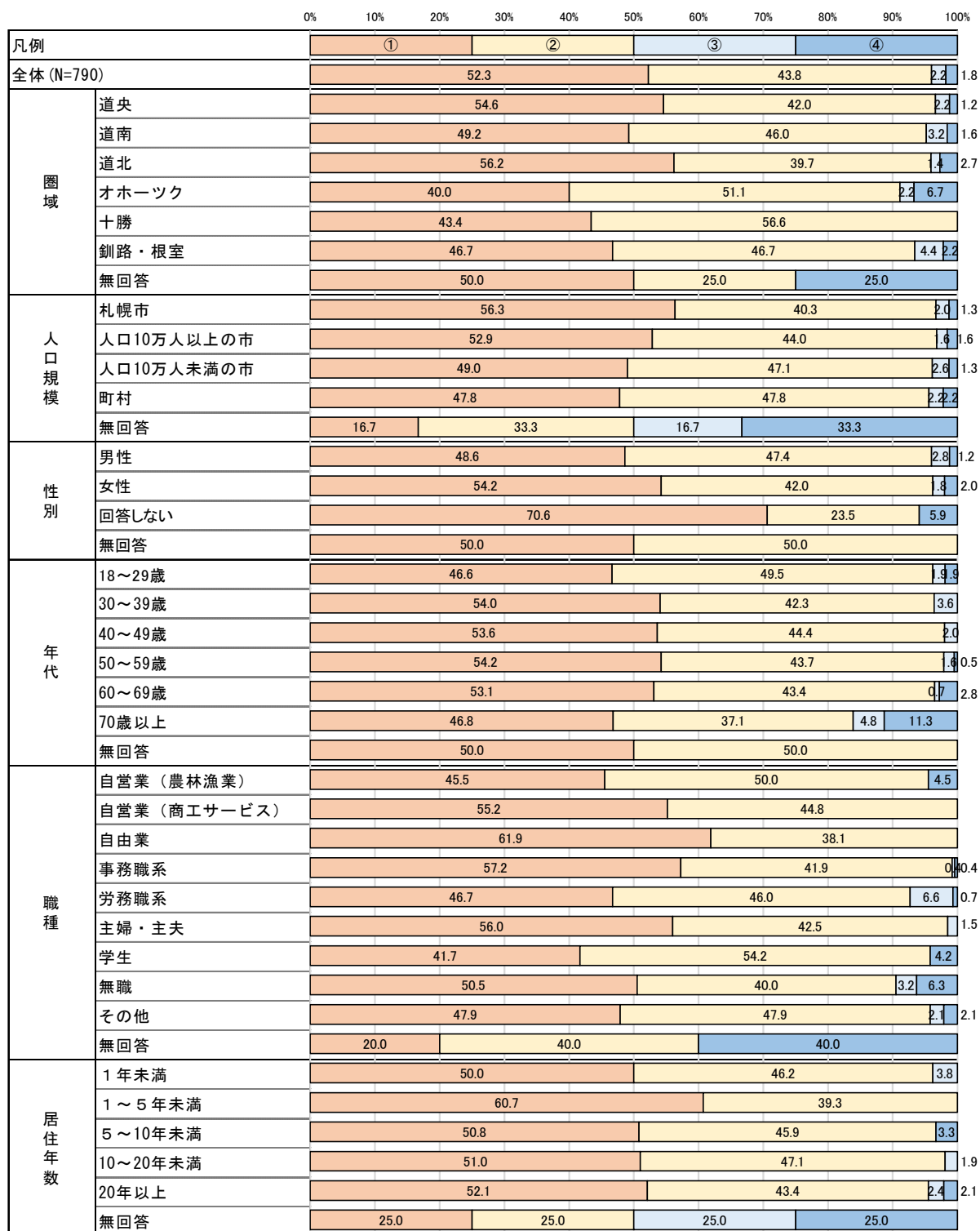
自由業で「どんな場合でも暴力にあたると思う」(61.9%)の割合が最も高い。

【居住年数別】

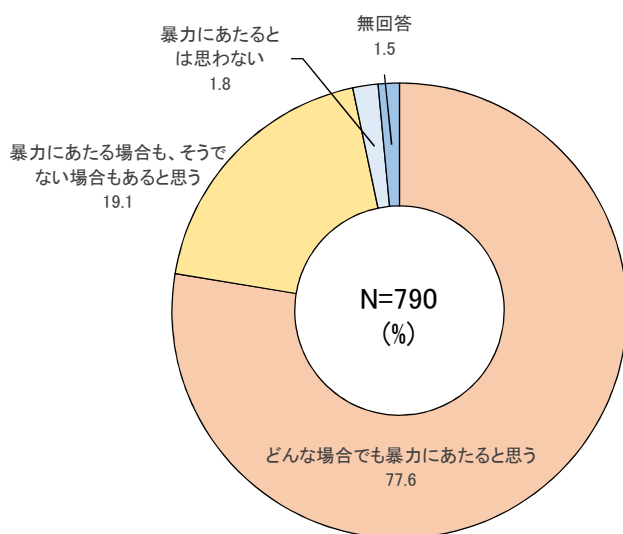
居住年数1～5年未満で、「どんな場合でも暴力に当たると思う」(60.7%)の割合が最も高い。

① どんな場合でも暴力にあたると思う  
③ 暴力にあたるとは思わない

② 暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う  
④ 無回答



問2 D ののしる（「誰のおかげで生活できるんだ」「役立たず」など）



【全体】

「どんな場合でも暴力にあたると思う」（77.6%）の割合が最も高く、「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」（19.1%）が続く。

【圏域別】

「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は、道北（82.2%）で最も高く、十勝（67.9%）が最も低い。

【人口規模別】

人口規模による大きな差異は見られない。

【性別】

「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は女性（81.3%）が男性（73.2%）を上回る。

【年代別】

18～29歳や、60～69歳、70歳以上では「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合はやや低くなっている。

【職種別】

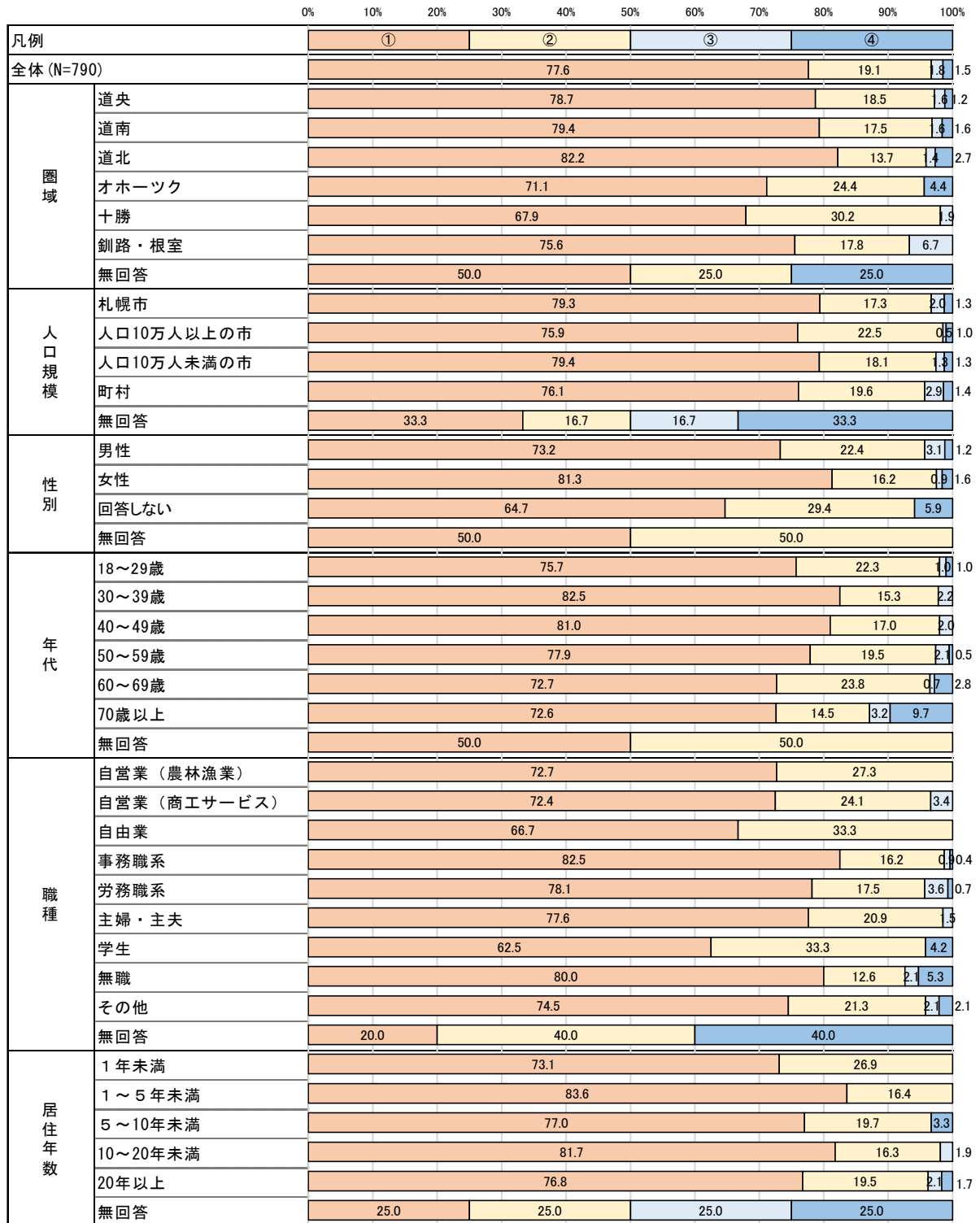
自由業や学生では「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合がやや低い。事務職系で「どんな場合でも暴力にあたると思う」（82.5%）の割合が高い。

【居住年数別】

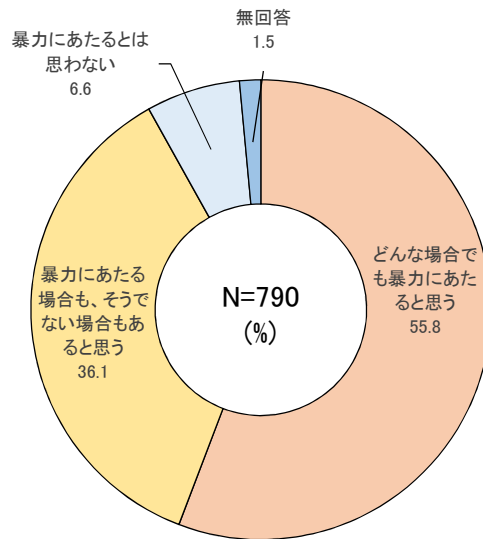
居住年数1年未満では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合（73.1%）が低くなっている。

- ① どんな場合でも暴力にあたると思う
- ③ 暴力にあたるとは思わない

- ② 暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う
- ④ 無回答



問2 E 長時間無視し続ける



【全体】

「どんな場合でも暴力にあたると思う」(55.8%)の割合が最も高く、「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」(36.1%)が続く。

【圏域別】

「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は、十勝(62.3%)や、釧路・根室(62.2%)で高く、「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」はオホーツク(44.4%)で高くなっている。

【人口規模別】

人口規模による大きな差異は見られない。

【性別】

性別による大きな差異は見られない。

【年代別】

70歳以上で「どんな場合でも暴力にあたると思う」(46.8%)の割合がやや低い。

【職種別】

自営業(商工サービス)で「どんな場合でも暴力にあたると思う」(44.8%)の割合が低くなっている。

【居住年数別】

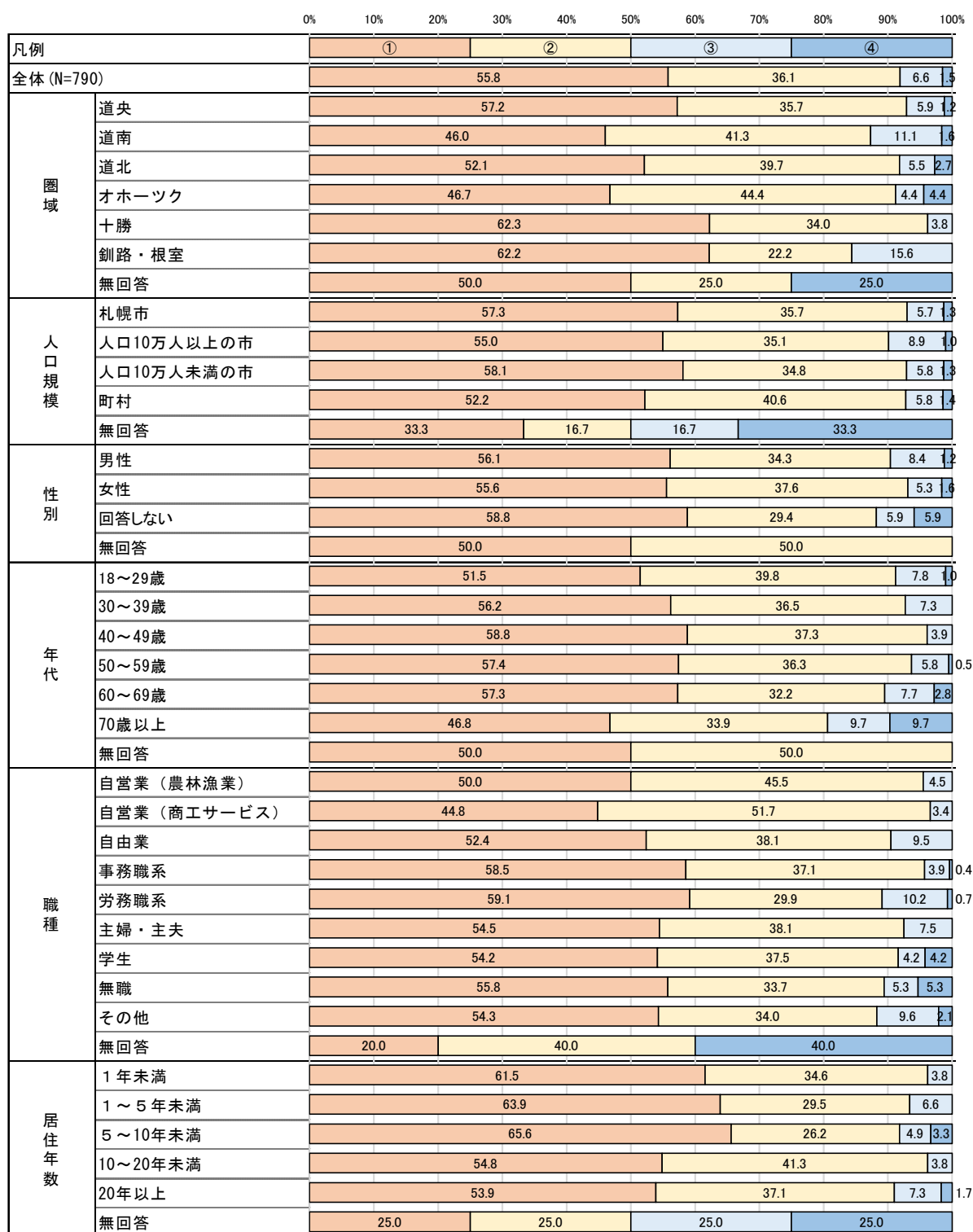
居住年数10年以上では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合が低くなっている。

① どんな場合でも暴力にあたると思う

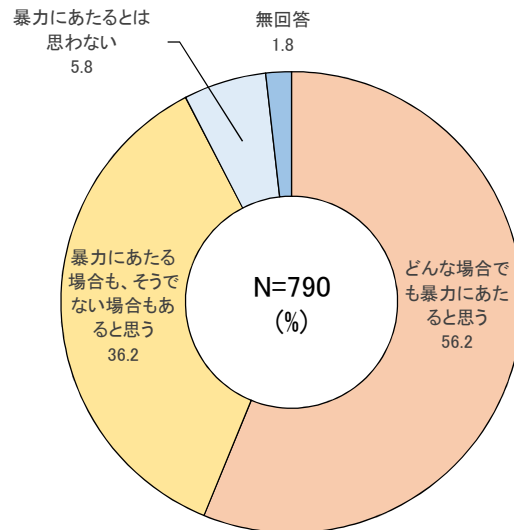
② 暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う

③ 暴力にあたるとは思わない

④ 無回答



問2 F 家族や他人との関わりを制限する



【全体】

「どんな場合でも暴力にあたると思う」（56.2%）の割合が最も高く、「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」（36.2%）が続く。

【圏域別】

圏域による大きな差異は見られないが、道南（49.2%）やオホーツク（48.9%）で「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合がやや低くなっている。

【人口規模別】

人口規模による大きな差異は見られない。

【性別】

「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は女性（58.4%）が男性（52.0%）を上回る。

【年代別】

70歳以上で「どんな場合でも暴力にあたると思う」（43.5%）の割合がやや低い。

【職種別】

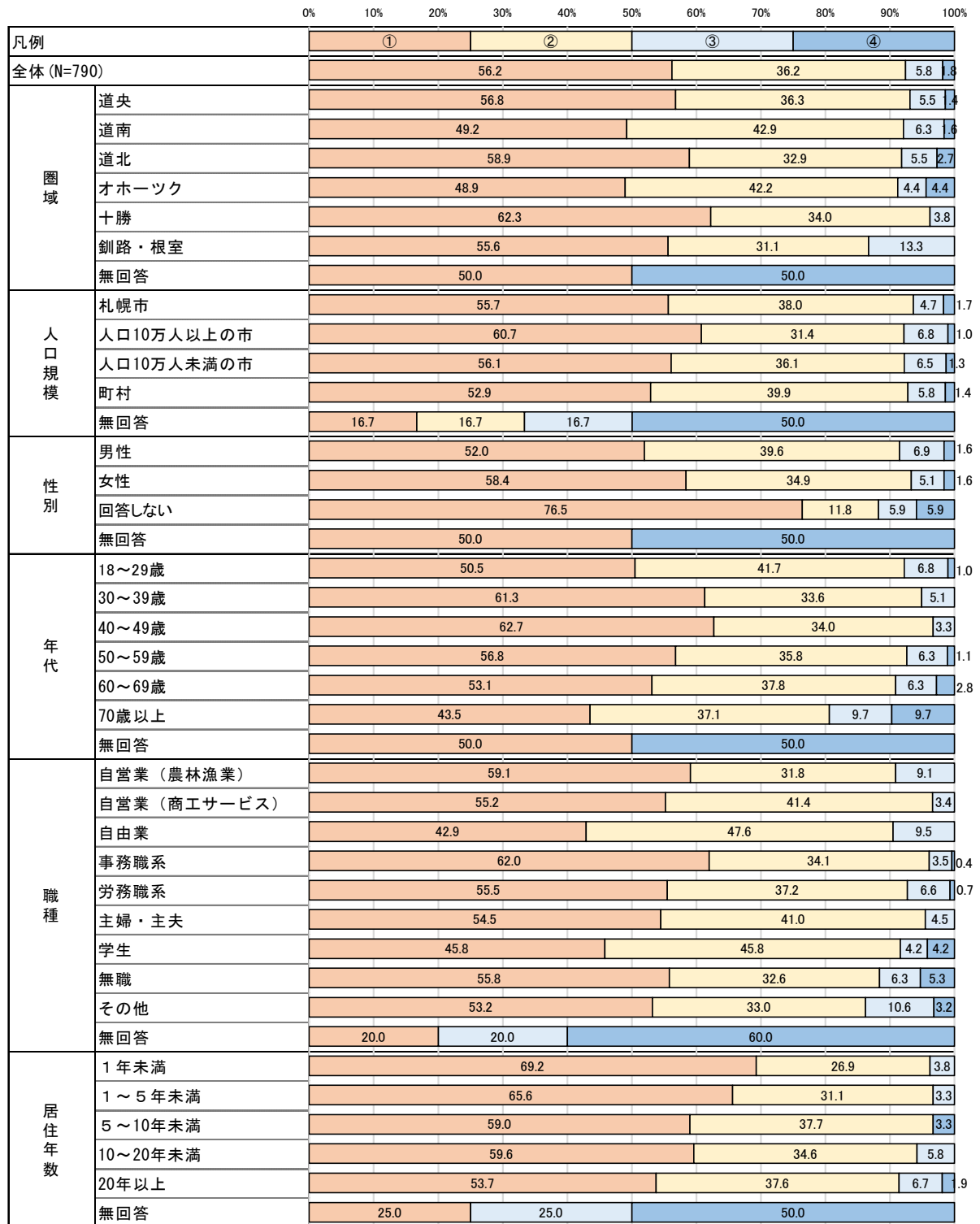
自由業（42.9%）、学生（45.8%）で「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合が低くなっている。

【居住年数別】

居住年数が長いほど、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合が低くなる傾向が見られる。

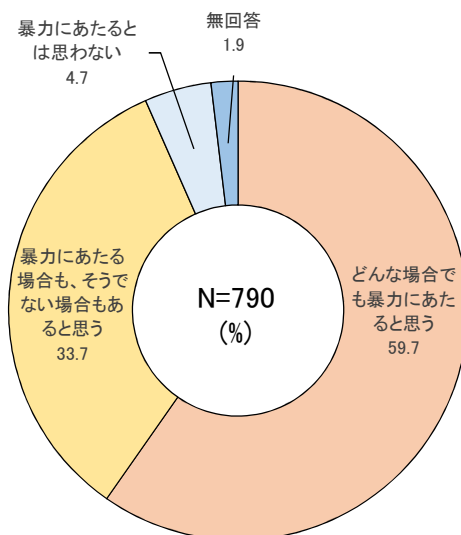
- ① どんな場合でも暴力にあたると思う  
 ③ 暴力にあたるとは思わない

- ② 暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う  
 ④ 無回答





問2 G 交友関係や外出先、電話・メール・SNS（LINEなど）を細かく監視する



【全体】

「どんな場合でも暴力にあたると思う」（59.7%）の割合が最も高く、これに「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」（33.7%）、「暴力にあたるとは思わない」（4.7%）が続く。

【圏域別】

「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は、道北（72.6%）が最も高く、道央（59.8%）、十勝（58.5%）が続く。

【人口規模別】

「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は、人口10万人以上の市（63.4%）で最も高く、札幌市（61.3%）、人口10万人未満の市（57.4%）などが続く。

【性別】

「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は女性（63.3%）が男性（53.9%）を上回る。

【年代別】

「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は、60～69歳（68.5%）で最も高く、これに30～39歳（65.7%）、50～59歳（60.5%）、40～49歳（56.9%）が続く。

【職種別】

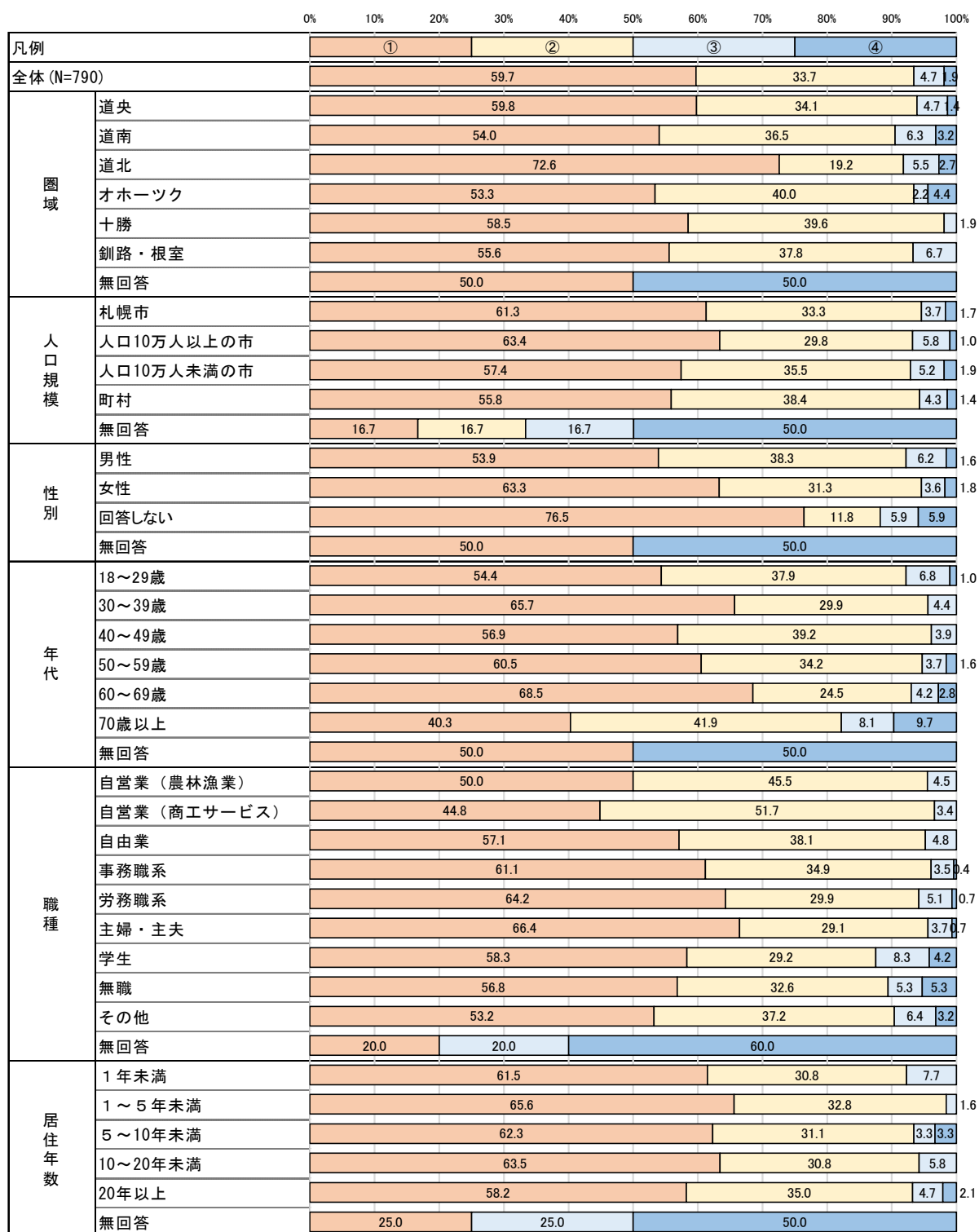
「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は主婦・主夫（66.4%）で最も高く、労務職系（64.2%）、事務職系（61.1%）、学生（58.3%）が続く。

【居住年数別】

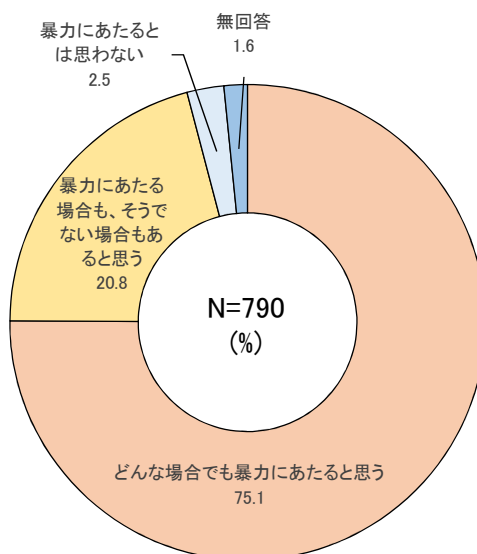
「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は居住年数1～5年未満（65.6%）が最も高い。

- ① どんな場合でも暴力にあたると思う
- ③ 暴力にあたるとは思わない

- ② 暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う
- ④ 無回答



問2 H 職場に行くことを妨害したり、外出先を制限する



【全体】

「どんな場合でも暴力にあたると思う」(75.1%)の割合が最も高く、これに「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」(20.8%)、「暴力にあたると思わない」(2.5%)が続く。

【圏域別】

「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は、道北(82.2%)が最も高く、道南(76.2%)、オホーツク(75.6%)が続く。

【人口規模別】

「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は、人口10万人以上の市(78.5%)で最も高く、札幌市(75.3%)、町村(73.2%)が続く。

【性別】

「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は女性(78.2%)が男性(70.1%)を上回る。

【年代別】

「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は、30～39歳(84.7%)で最も高く、これに50～59歳(77.4%)、60～69歳(74.8%)、40～49歳(71.9%)が続く。

【職種別】

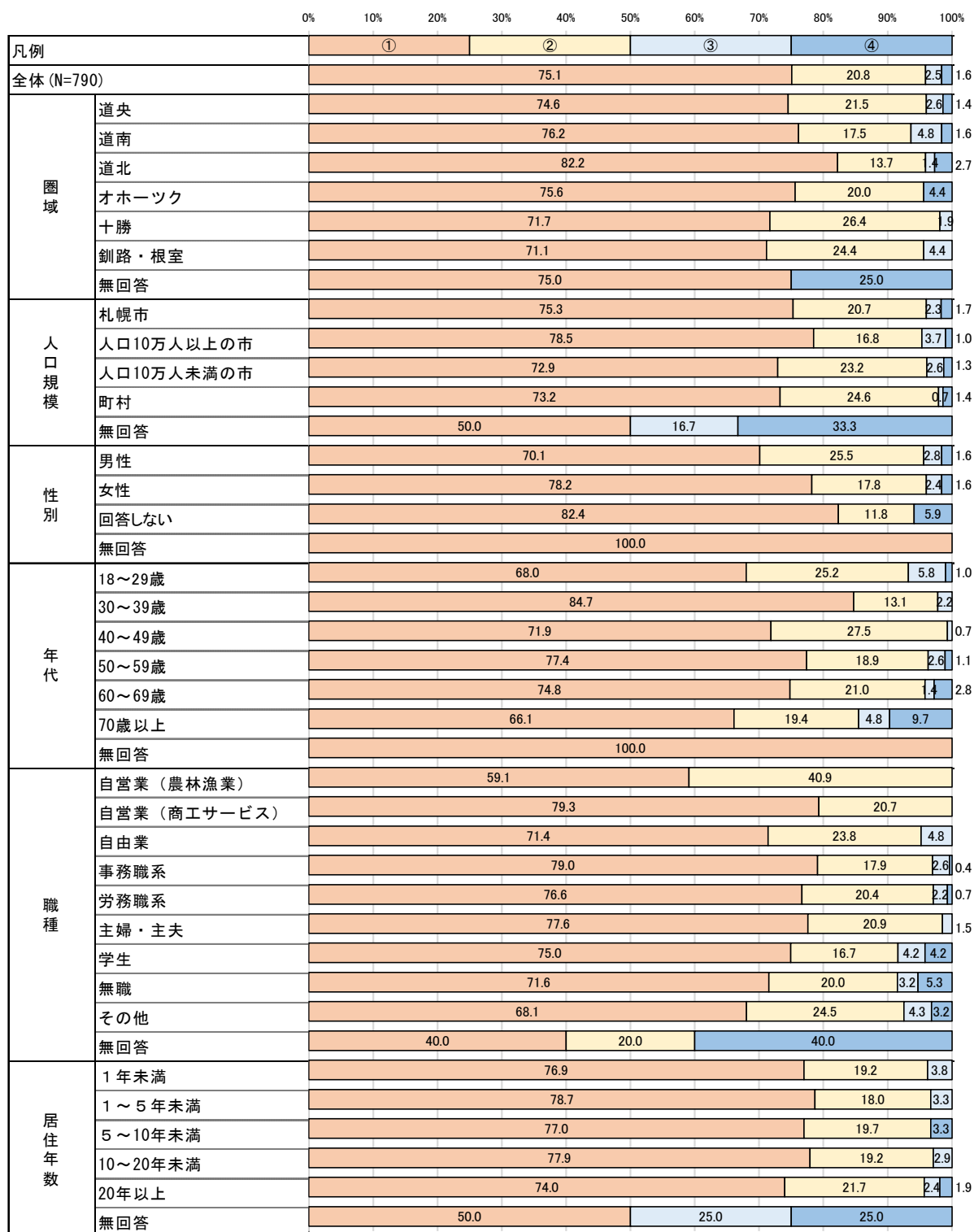
「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は自営業(商工サービス)(79.3%)で最も高く、事務職系(79.0%)、主婦・主夫(77.6%)、労務職系(76.6%)が続く。

【居住年数別】

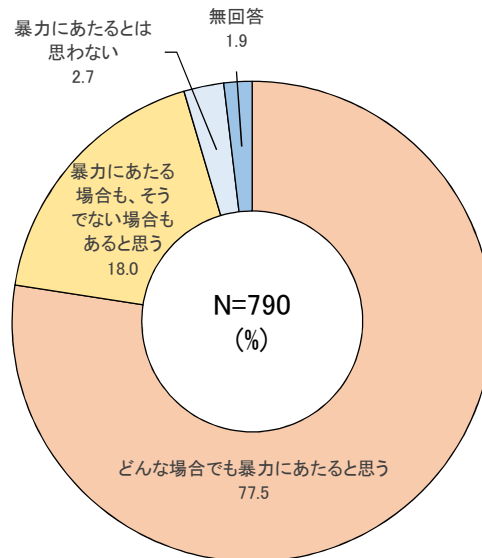
居住年数による大きな差異は見られない。

- ① どんな場合でも暴力にあたると思う
- ③ 暴力にあたるとは思わない

- ② 暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う
- ④ 無回答



問2 1 家計に必要な生活費を渡さない



【全体】

「どんな場合でも暴力にあたると思う」(77.5%)の割合が最も高く、これに「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」(18.0%)、「暴力にあたるとは思わない」(2.7%)が続く。

【圏域別】

圏域による大きな差異は見られない。

【人口規模別】

「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は、人口10万人以上の市(82.2%)で最も高くなっている。

【性別】

「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は女性(78.9%)が男性(74.5%)を上回る。

【年代別】

「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は、40～49歳(85.0%)で最も高く、30～39歳(81.8%)、60～69歳(76.9%)、50～59歳(76.3%)が続く。

【職種別】

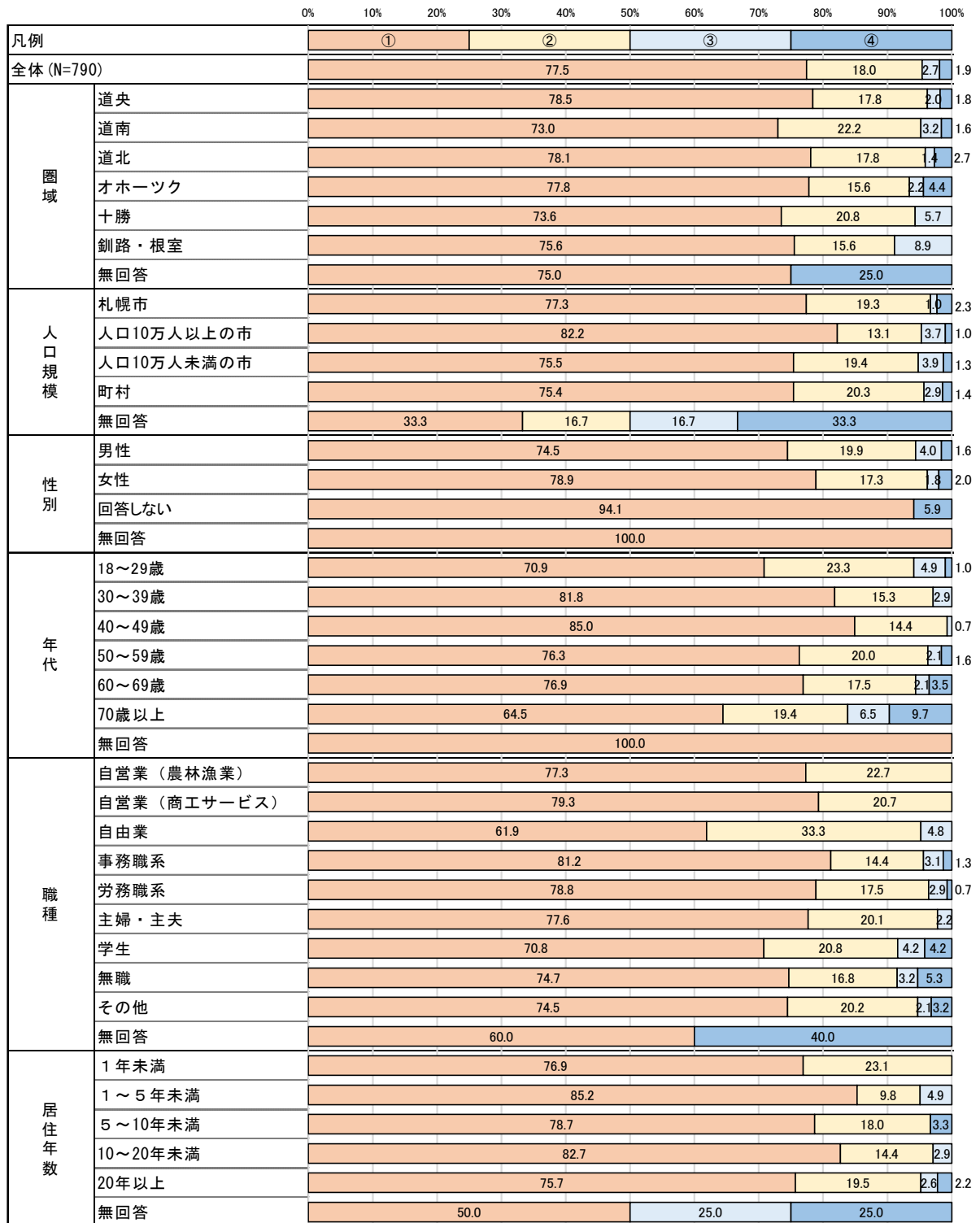
「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は事務職系(81.2%)で最も高く、自営業(商工サービス)(79.3%)、労務職系(78.8%)、主婦・主夫(77.6%)が続く。

【居住年数別】

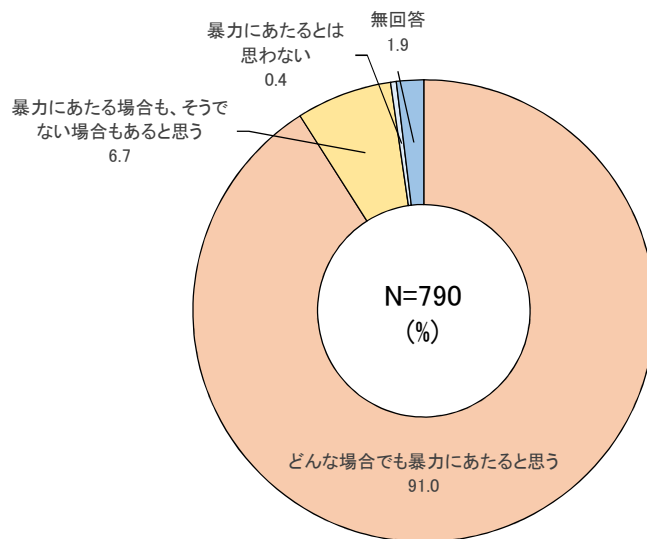
「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は居住年数1～5年未満(85.2%)が最も高く、10～20年未満(82.7%)が続く。

- ① どんな場合でも暴力にあたると思う
- ③ 暴力にあたるとは思わない

- ② 暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う
- ④ 無回答



問2 「嫌がっているのに性的な行為を強要する、避妊に協力しない」



【全体】

「どんな場合でも暴力にあたると思う」(91.0%)が最も高く、これに「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」(6.7%)が続く。

【圏域別】

どの圏域でも「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は8～9割と高くなっている。

【人口規模別】

人口規模による大きな差異は見られない。

【性別】

「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は女性(92.2%)が男性(89.4%)を上回る。

【年代別】

「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は、30～39歳(95.6%)で最も高く、これに50～59歳(95.3%)、18～29歳、40～49歳(ともに92.2%)が続く。

【職種別】

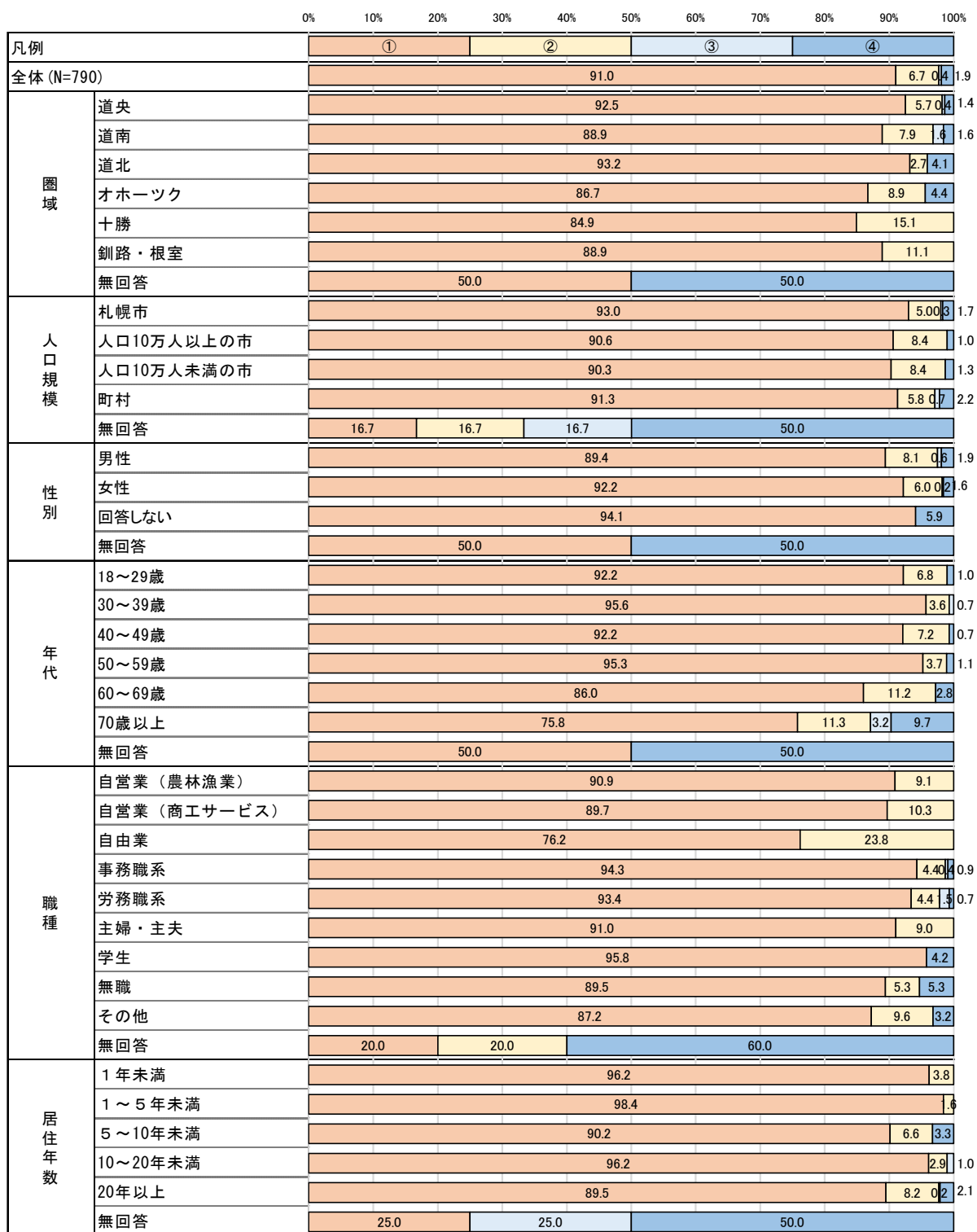
「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は学生(95.8%)で最も高く、事務職系(94.3%)、労務職系(93.4%)、主婦・主夫(91.0%)が続く。

【居住年数別】

「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は居住年数1～5年未満(98.4%)が最も高く、これに1年未満、10～20年未満(ともに96.2%)が続く。

- ① どんな場合でも暴力にあたると思う
- ③ 暴力にあたるとは思わない

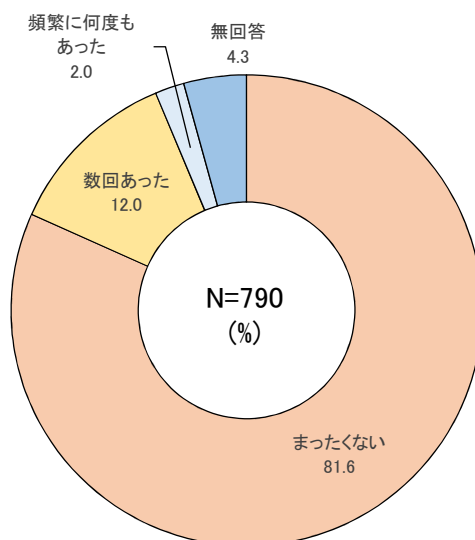
- ② 暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う
- ④ 無回答





問3 あなたはこれまでに、配偶者等から次のようなことをされたことがありますか。それぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つずつ)

【身体的暴力】



【全体】

「まったくない」(81.6%)の割合が最も高く、これに「数回あった」(12.0%)、「頻繁に何度もあった」(2.0%)が続く。

【圏域別】

どの圏域でも「まったくない」の割合は8割前後と高くなっている。

【人口規模別】

「まったくない」の割合は人口10万人未満の市(85.2%)で最も高く、人口10万人以上の市(83.2%)が続く。

【性別】

性別による大きな差異は見られない。

【年代別】

「まったくない」の割合は、30～39歳(87.6%)で最も高く、これに18～29歳、50～59歳(ともに81.6%)が続く。

【職種別】

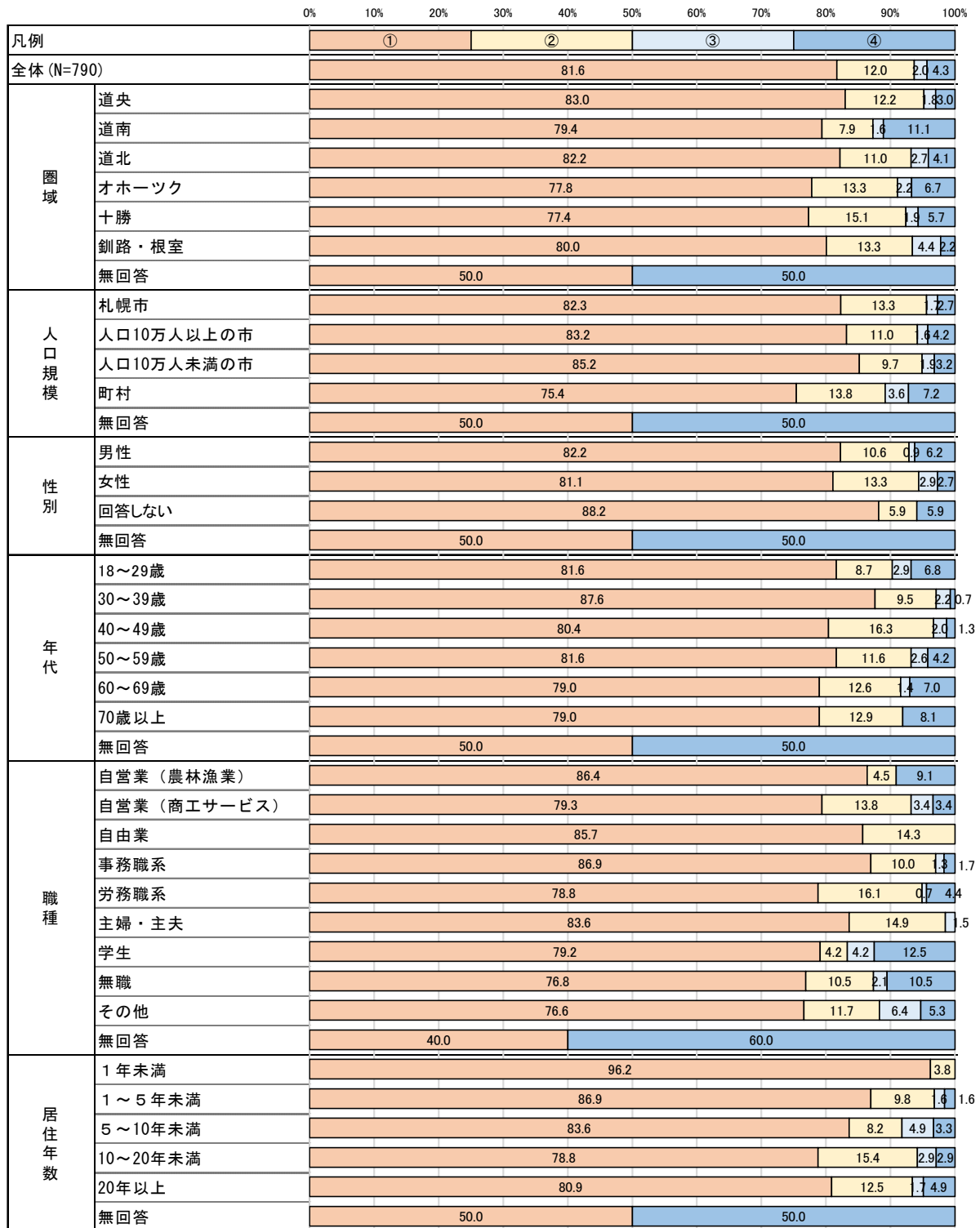
「まったくない」の割合は事務職系(86.9%)で最も高く、自営業(農林漁業)(86.4%)、自由業(85.7%)、主婦・主夫(83.6%)が続く。

【居住年数別】

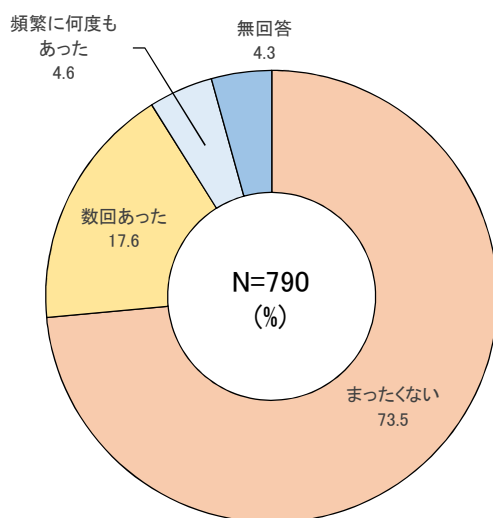
「まったくない」の割合は居住年数1年未満(96.2%)が最も高く、これに1～5年未満(86.9%)、5～10年未満(83.6%)が続く。

① まったくない  
③ 頻繁に何度もあった

② 数回あった  
④ 無回答



問3 【精神的暴力】



【全体】

「まったくない」(73.5%)の割合が最も高く、これに「数回あった」(17.6%)、「頻繁に何度もあった」(4.6%)が続く。

【圏域別】

道北では「まったくない」(58.9%)の割合がやや低くなっている。

【人口規模別】

「まったくない」の割合は人口10万人未満の市(77.4%)や、札幌市(76.7%)が続く。

【性別】

性別による大きな差異は見られない。

【年代別】

「まったくない」の割合は、30～39歳(80.3%)で最も高く、これに18～29歳(74.8%)、50～59歳(73.2%)が続く。

【職種別】

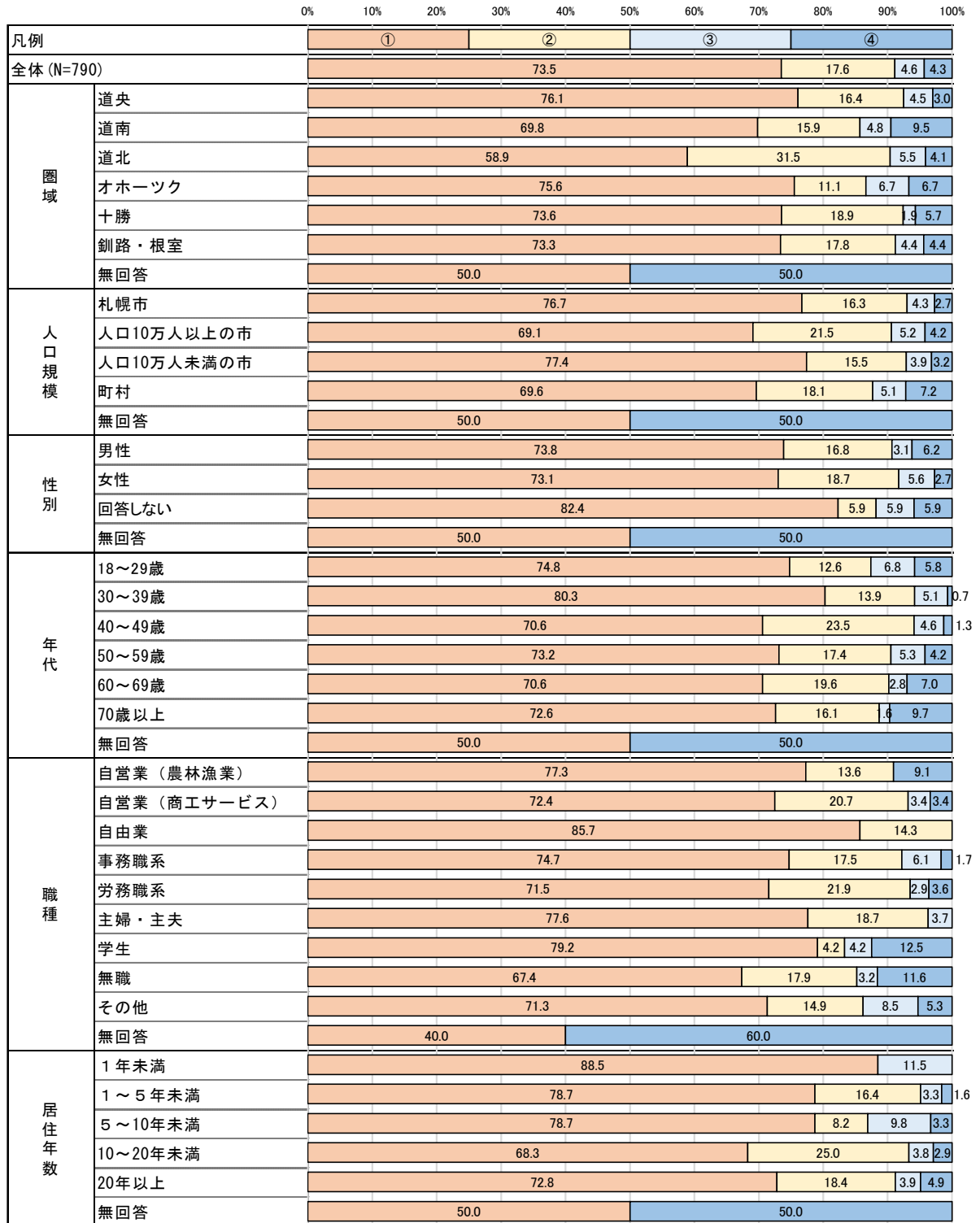
「まったくない」の割合は自由業(85.7%)で最も高く、学生(79.2%)、主婦・主夫(77.6%)、自営業(農林漁業)(77.3%)が続く。

【居住年数別】

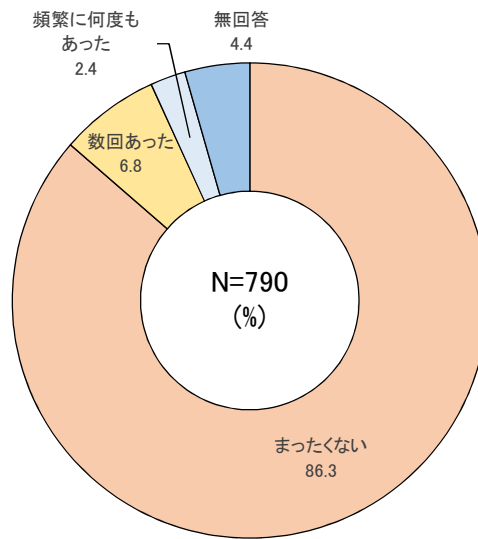
「まったくない」の割合は居住年数1年未満(88.5%)が最も高く、これに1～5年未満、5～10年未満(ともに78.7%)が続く。

①まったくない  
③頻繁に何度もあった

②数回あった  
④無回答



問3 【経済的暴力】



【全体】

「まったくない」（86.3%）の割合が最も高く、「数回あった」（6.8%）、「頻繁に何度もあった」（2.4%）が続く。

【圏域別】

圏域による大きな差異は見られない。

【人口規模別】

「まったくない」の割合は、札幌市（88.7%）、人口10万人以上の市（88.5%）、人口10万人未満の市（88.4%）が続く。

【性別】

「まったくない」の割合は男性（84.7%）よりも女性（87.6%）がやや高い。

【年代別】

「まったくない」の割合は、30～39歳（92.7%）で最も高く、これに18～29歳（91.3%）、40～49歳（88.9%）が続く。

【職種別】

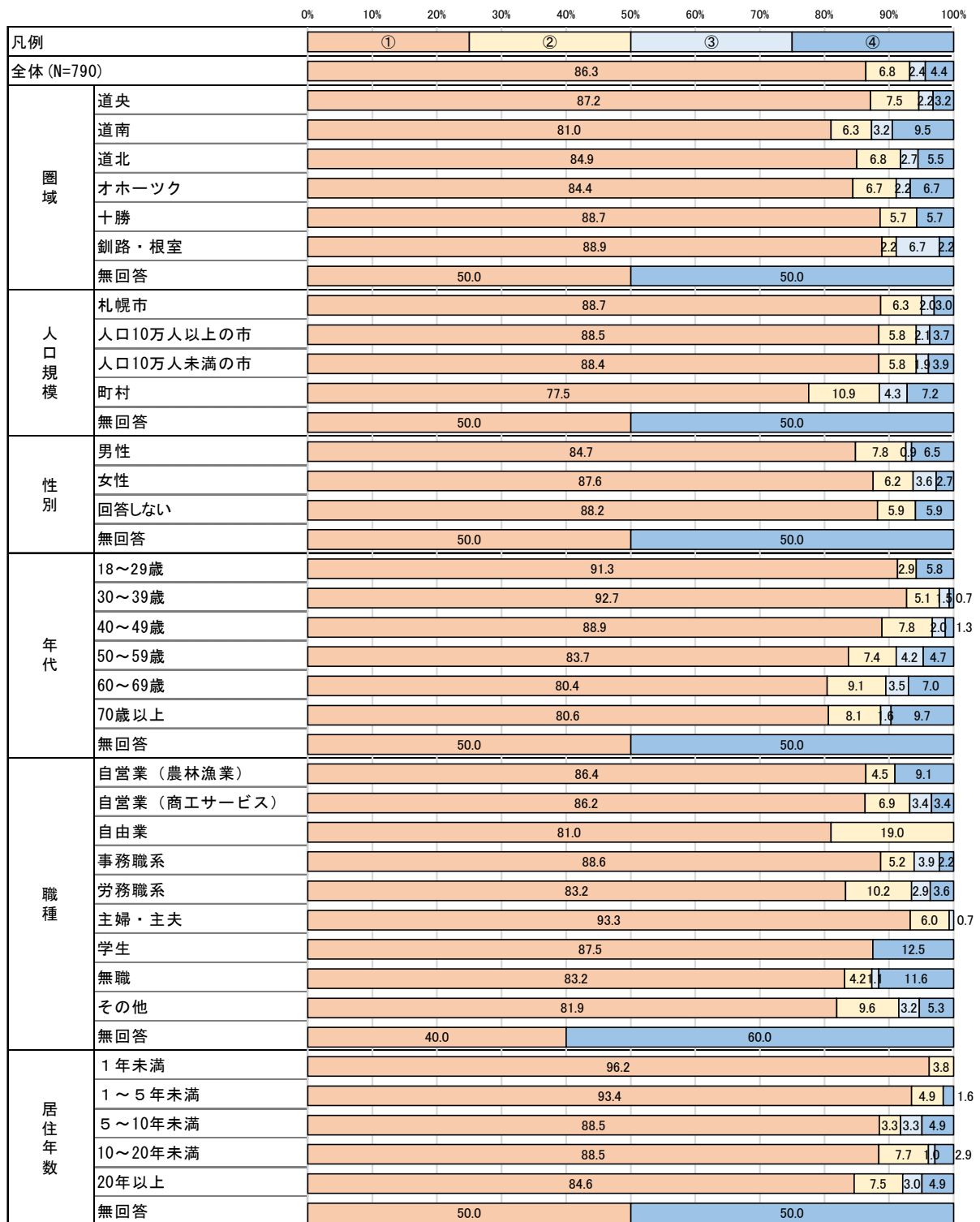
「まったくない」の割合は主婦・主夫（93.3%）で最も高く、事務職系（88.6%）、学生（87.5%）、自営業（農林漁業）（86.4%）が続く。

【居住年数別】

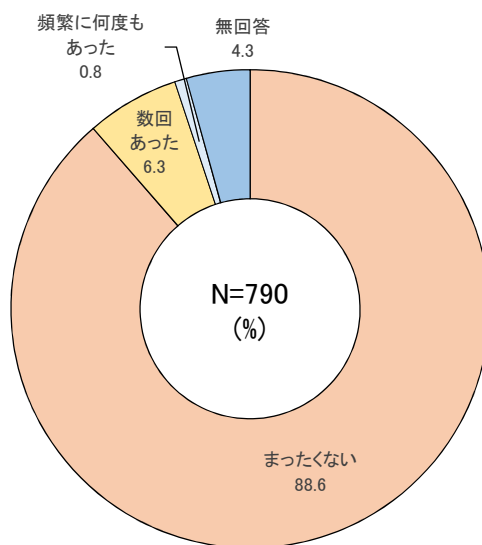
「まったくない」の割合は居住年数1年未満（96.2%）が最も高く、これに1～5年未満（93.4%）、5～10年未満、10～20年未満（ともに88.5%）が続く。

①まったくない  
③頻繁に何度もあった

②数回あった  
④無回答



問3 【性的暴力】



【全体】

「まったくない」(88.6%)の割合が最も高く、「数回あった」(6.3%)、「頻繁に何度もあった」(0.8%)が続く。

【圏域別】

どの圏域でも「まったくない」の割合は8割以上と高くなっているが、釧路・根室では「まったくない」(84.4%)割合がやや低くなっている。

【人口規模別】

「まったくない」の割合は、町村(81.2%)でやや低くなっている。

【性別】

「まったくない」の割合は男性(91.6%)が女性(86.4%)を上回る。

【年代別】

「まったくない」の割合は、30～39歳(93.4%)で最も高く、これに40～49歳(90.2%)、50～59歳(87.9%)、60～69歳(86.7%)が続く。

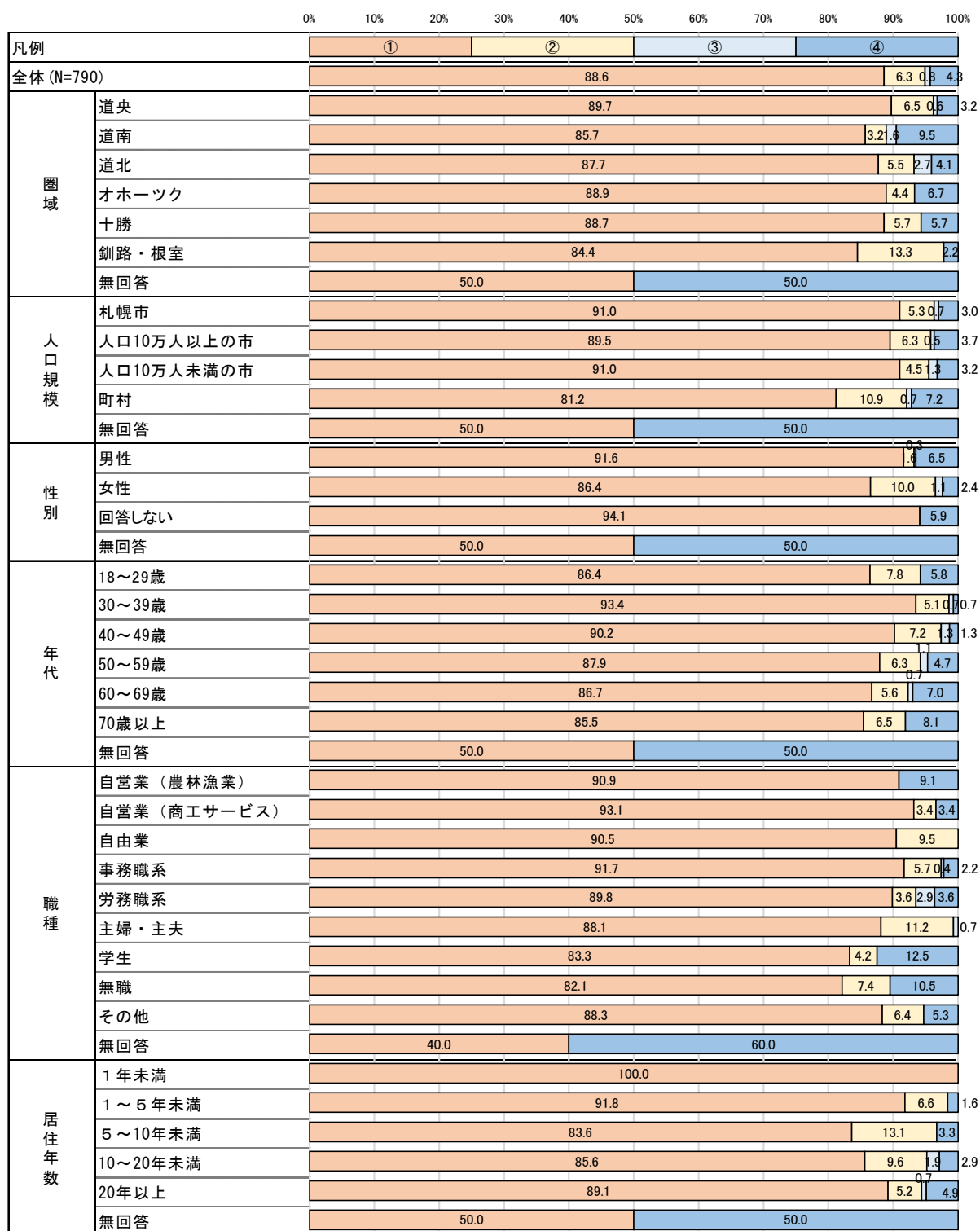
【職種別】

「まったくない」の割合は自営業(商工サービス)(93.1%)で最も高く、事務職系(91.7%)、自営業(農林漁業)(90.9%)、自由業(90.5%)が続く。

【居住年数別】

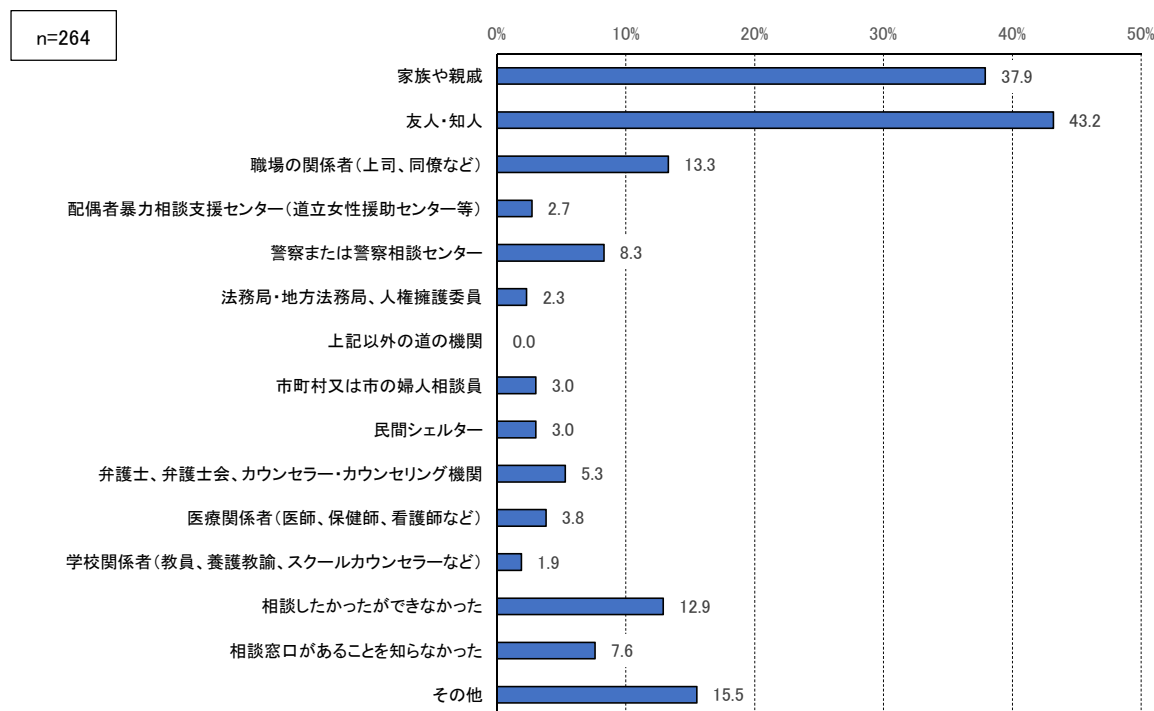
「まったくない」の割合は、居住年数5～10年未満(83.6%)でやや低くなっている。

- ① まったくない  
② 数回あった  
③ 頻繁に何度もあった  
④ 無回答





問4 ※ご自身または知人の方が、配偶者等から問3のような行為を受けたことがある場合にお答えください。  
そのことについて、だれか（どこか）に相談されましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。  
（○はいくつでも）



【全体】

「友人・知人」(43.2%)が最も高く、これに「家族や親戚」(37.9%)、「その他」(15.5%)、「職場の関係者(上司、同僚など)」(13.3%)、「相談したかったができなかった」(12.9%)が続く。

【圏域別】

「友人・知人」の割合は、道南(58.8%)に、道北(52.0%)、十勝(50.0%)が続く。

【人口規模別】

「家族や親戚」の割合は人口10万人以上の市(44.8%)で最も高く、「友人・知人」の割合は、人口10万人未満の市(47.1%)が高くなっている。

【性別】

男性は「家族や親戚」、「友人・知人」(ともに36.0%)となるが、女性では「友人・知人」(47.1%)の割合が、「家族や親戚」(39.0%)よりも高い。

【年代別】

「家族や親戚」の割合は、18～29歳(57.1%)で最も高く、これに60～69歳(49.1%)が次ぐ。「友人・知人」の割合は、30～39歳(51.1%)が高く、70歳以上(50.0%)や40～49歳(49.1%)が次ぐ。

【職種別】

「家族や親戚」の割合は学生(66.7%)で最も高く、自営業(農林漁業)(50.0%)、無職(46.7%)が続く。「友人・知人」の割合は、無職(56.7%)が高く、事務職系(47.8%)や自由業(44.4%)が続く。

【居住年数別】

「家族や親戚」の割合は居住年数1年未満(71.4%)が最も高く、1年～5年未満(66.7%)が続く。「友人・知人」の割合は、5～10年未満(57.9%)が高く、10～20年未満(51.4%)が続く。

		家族や親戚	友人・知人	職場の関係者（上司、同僚など）	配偶者暴力相談支援センター（道立女性援助センター等）	警察または警察相談センター	法務局・地方公務局、人権擁護委員	上記以外の道の機関	市町村又は市の婦人相談員	民間シェルター	弁護士・弁護士会、カウンセラー・カウンセセリング機関	医療関係者（医師、保健師、看護師など）	学校関係者（教員、養護教諭、スクールカウンセラーなど）	相談したかったができなかった	相談窓口があることを知らなかった	その他
		（％）														
全体		37.9	43.2	13.3	2.7	8.3	2.3	0.0	3.0	3.0	5.3	3.8	1.9	12.9	7.6	15.5
圏域	道央	37.3	41.8	14.1	1.7	6.8	2.8	0.0	2.3	2.3	4.0	4.0	2.3	12.4	6.2	16.9
	道南	52.9	58.8	11.8	5.9	23.5	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	5.9	11.8
	道北	28.0	52.0	12.0	0.0	8.0	0.0	0.0	4.0	0.0	8.0	4.0	0.0	28.0	12.0	12.0
	オホーツク	53.3	26.7	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	6.7	6.7	13.3	0.0	0.0	6.7	13.3	6.7
	十勝	50.0	50.0	20.0	20.0	10.0	10.0	0.0	0.0	10.0	20.0	0.0	0.0	10.0	10.0	10.0
	釧路・根室	26.3	42.1	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	5.3	10.5	5.3	5.3	5.3	10.5	10.5	21.1
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
人口規模	札幌市	40.7	44.2	14.2	1.8	6.2	1.8	0.0	1.8	2.7	0.9	4.4	2.7	10.6	6.2	16.8
	人口10万人以上の市	44.8	39.7	10.3	5.2	6.9	3.4	0.0	8.6	5.2	10.3	5.2	3.4	12.1	8.6	15.5
	人口10万人未満の市	25.5	47.1	11.8	0.0	11.8	2.0	0.0	2.0	2.0	7.8	2.0	0.0	13.7	9.8	13.7
	町村	36.6	41.5	17.1	4.9	12.2	2.4	0.0	0.0	2.4	7.3	2.4	0.0	19.5	7.3	12.2
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
性別	男性	36.0	36.0	21.3	1.1	4.5	1.1	0.0	2.2	4.5	4.5	4.5	1.1	13.5	4.5	21.3
	女性	39.0	47.1	8.7	3.5	10.5	2.9	0.0	3.5	2.3	5.8	3.5	2.3	12.2	8.7	12.2
	回答しない	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年代	18～29歳	57.1	39.3	17.9	3.6	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	3.6	10.7	3.6	3.6	3.6
	30～39歳	20.0	51.1	8.9	2.2	4.4	0.0	0.0	2.2	2.2	6.7	4.4	2.2	15.6	8.9	15.6
	40～49歳	34.0	49.1	18.9	1.9	15.1	1.9	0.0	0.0	7.5	9.4	5.7	1.9	5.7	5.7	20.8
	50～59歳	36.9	38.5	15.4	6.2	7.7	1.5	0.0	4.6	3.1	6.2	3.1	1.5	16.9	10.8	15.4
	60～69歳	49.1	36.8	8.8	0.0	8.8	7.0	0.0	7.0	1.8	3.5	3.5	1.8	14.0	3.5	15.8
	70歳以上	31.3	50.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	18.8	18.8
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
職種	自営業（農林漁業）	50.0	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7
	自営業（商工サービス）	33.3	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	33.3
	自由業	22.2	44.4	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	11.1	11.1	22.2	
	事務職系	34.3	47.8	16.4	6.0	9.0	3.0	0.0	1.5	6.0	6.0	1.5	1.5	13.4	7.5	17.9
	労務職系	32.0	42.0	14.0	2.0	8.0	0.0	0.0	6.0	0.0	6.0	4.0	2.0	16.0	10.0	12.0
	主婦・主夫	40.7	37.0	7.4	0.0	3.7	3.7	0.0	1.9	1.9	3.7	1.9	0.0	14.8	7.4	14.8
	学生	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	無職	46.7	56.7	6.7	3.3	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	6.7	0.0	6.7	13.3	13.3
	その他	41.0	41.0	20.5	2.6	12.8	5.1	0.0	5.1	5.1	7.7	5.1	5.1	10.3	2.6	15.4
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
居住年数	1年未満	71.4	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3
	1～5年未満	66.7	42.9	14.3	4.8	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	4.8	4.8	14.3
	5～10年未満	42.1	57.9	26.3	0.0	15.8	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	5.3	0.0	10.5	5.3	15.8
	10～20年未満	24.3	51.4	5.4	2.7	10.8	0.0	0.0	2.7	0.0	5.4	2.7	2.7	16.2	13.5	8.1
	20年以上	35.8	40.2	14.0	2.8	6.7	3.4	0.0	3.4	4.5	5.0	4.5	2.2	14.0	6.7	16.8
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	

## 「配偶者や交際相手からの暴力について」の調査を終えて

DV(ドメスティック・バイオレンス)という言葉の認知度について、「言葉も、その内容も知っている」と回答した割合は約9割だった一方で、デートDVという言葉については、4割近くが「言葉も、その内容も知らない」と回答している。

また、暴力の内容別による被害経験については、「数回あった」と「頻繁に何度もあった」を合わせると、身体的暴力は14.0%、精神的暴力は22.2%、経済的暴力は9.2%、性的暴力は7.1%という結果となっている。

自身または知人に被害経験がある人の相談先については、「友人・知人」や「家族や親戚」などが多くなっているが、約2割は、「相談したかったができなかった」または「相談窓口があることを知らなかった」と回答しており、どこにも相談していない状況がうかがわれる。

今回の調査結果から、DVという言葉や、様々な形態の暴力に対する認識は高まっているものの、若い世代に多いデートDVについては認知度がいまだ低い状況にあること、また、一定の割合で何らかの暴力の被害経験があることなどが把握された。

この結果について、今年度、DV防止及び被害者保護・支援に係る施策を含めて新たに策定する「北海道困難な問題を抱える女性への支援等に関する基本計画(仮称)」へ反映させるとともに、令和6年度から10年度までの計画期間において、配偶者や交際相手からの暴力が重大な人権侵害であるという意識が一層広まるよう、効果的な普及啓発の取組を進めていく。

(保健福祉部子ども政策局子ども家庭支援課)

